

教授会議事録

日時：平成27年10月13日（火）14時00分から16時35分

場所：電気通信研究所大会議室

議事に先立ち、議長から教員等の人事異動について配付資料のとおり報告があった。

平成27年9月8日（火）開催の定例教授会議事録について、承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議

議長から、9月15日開催の部局長連絡会議・教育研究評議会合同会議について、資料に基づき以下のとおり報告があった。

- ①平成28年度概算要求
- ②外国人教員等の子供の教育に係る経済的支援
- ③障害者雇用への取組み
- ④平成28年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制
- ⑤平成27年度東北大学進学説明会・入試説明会（報告）
- ⑥平成27年度オープンキャンパス（報告）
- ⑦学友会全学協議会
- ⑧学生の懲戒
- ⑨東京における就職活動の支援策の延長
- ⑩平成27年度科学研究費助成事業交付内定状況
- ⑪科学研究費助成事業（大型種目）細目別応募・採択状況
- ⑫平成28年度科学研究費助成事業－科研費－への応募
- ⑬「平成28年度科学研究費助成事業－科研費－応募に関する説明会」の開催
- ⑭科学研究費助成事業研究計画調書作成アドバイスの実施
- ⑮平成27年度総合防災訓練等の実施
- ⑯地下鉄東西線開業後の学内交通計画
- ⑰情報基盤整備計画（平成25年度～平成29年度）の見直し検討プロジェクト・チーム報告
- ⑱平成28年学術雑誌購読
- ⑲マイナンバー制度への対応（状況報告）

(2) 環境・安全委員会

環境・安全委員会について報告があった。

環境・安全報告書が完成したとの報告があった。

喫煙に対する苦情が寄せられており、今後踏み込んだ対応が必要との意見もあるとの報告があった。

ストレスチェックの実施が義務化され、平成27年12月からの施行の予定であるとの報告があった。

(3) 学務審議会

学務審議会について、平成29年度から、全学教育科目が現在のセメスター制からクォーター制に試験的に変更予定であるとの報告があった。今後、専門教育科目でも可能な限り実施することが求められているとの説明があった。

その後クォーター制についての諸課題について説明があった。

(4) 国際交流委員会

国際交流委員会について説明があった。大学間交流協定、部局間交流協定の締結について説明があり、ダブルディグリーの締結についての説明があった。また、スーパーグローバル大学創成支援の取組みの一環として、シラバスの英語化について説明があった。

(5) URA連携協議会

URA連携協議会について説明があった。URAセンターで部局別研究活動分析を行っているとの報告があり、その内容について説明があった。また、通研に対する分析結果の説明が11月2日(月)に実施されるとの報告があった。

(6) 学生生活審議会

学生生活審議会について以下の報告があった。

- ・ 大学祭が今月末に開催されることに伴い、10月30日(金)が休講になるとの報告があった。
- ・ 大学の運行しているバスが、地下鉄東西線の開通とともに、廃止となる区間があるとの報告があった。学生の負担増につながる点は要検討であるとの報告があった。
- ・ 学生の飲酒問題について、部局においても注意されたいとの説明があった。
- ・ 学友会の会費について、協力願いたいとの報告があった。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画委員会

研究企画委員会について説明があった。従来の検討事項に加え、次年度の共同研究プロジェクトに関して議論があり、産学連携に焦点を当てた区分も加えることについて検討しているとの説明があった。

(2) 安全衛生委員会

安全衛生委員会について以下の報告があった。

- ・ 禁煙について、通研としても看板の設置等対応策を検討することを検討する。
- ・ 健康診断等で再検査となった教職員については、再検査を受けてもらいたいとの報告があり、受診できない場合は産業医の面談を行う等の支援をすることが事業所の責任となっていることが説明された。
- ・ 休養室の使用について使用簿への未記載、飲食等の不適切な利用があると思われるので、各研究室で使用方法について周知、注意頂きたい。

(3) 建物環境委員会

建物環境委員会について資料に基づき説明があった。1、2号館の施錠管理について説明があった。

(4) 学部教務委員会

学部教務委員会について資料に基づき説明があった。クォーター制について、他大学の実施例等を知っている方がいればご教示願いたいとの依頼があった。

(5) 電気・情報系進路指導委員会

電気・情報系進路指導委員会について説明があった。大学推薦を受けた者で未定の者は10%未満、自由応募の学生の内定率は高くない、推薦への切り替えを希望する学生には委員との面談の実施について指導してもらいたいとの説明があった。

(6) 通研学務委員会

11月4・5日に学部3年生の研究室見学を実施するとの報告があり、併せて協力依頼があった。

(7) 産学官連携推進室

産学官連携推進室について資料に基づき説明があった。採用後現在までの活動報告について報告があった。

(8) 広報室

広報室からの報告として、通研・研究室紹介ビデオについて対象研究室を拡充していく予定であるとの報告があり、最終的にすべての研究室が参加する予定であるとの報告があった。今年度新たに取材する研究室については、11月頃に取材をする予定であるとの説明があり、残りの研究室については、来年度に実施するとの報告があった。

3. 平成28年度概算要求について

議長から、平成28年度概算要求について資料に基づき説明があった。

4. 共同利用・共同研究拠点の期末評価等について

議長から、共同利用・共同研究拠点の期末評価等について資料に基づきS評価であったとの報告があり、併せて関係者への謝辞があった。

5. 大学改革への対応について

議長から、申請していた学際研究重点プログラムが採択となったことの報告があった。

リーダーの村岡教授から、全体会議及びキックオフミーティングの日程等について資料に基づき説明があり、併せて、今後の活動についての協力依頼があった。

議長から、本プログラムに関する今後の構想等について説明があった。

6. 研究評価について

研究力強化WGについて説明があった。

被引用回数などのデータについて説明があり、個人データを個別に研究教授会構成員に配付したとの報告があった。

議長から、通研教授会構成員についても個人データを配付したいとの説明があった。また、日本の大学の世界での地位について、今回全体的に順位を下げたことに関して、データの取り方等調査方法の変更があったとの説明があった。

7. 電気通信研究機構について

電気通信研究機構について説明があった。運営委員会が開催され、その内容について説明があった。

本部防災訓練が10月23日に開催されることに伴い、耐災害情報通信技術の実証実験を行う予定であるとの説明があった。3月に開催される復興イベントで電気通信研究機構がシンポジウムを開催予定であるとの報告があった。

8. その他

(1) 職員及び学生の受賞について

議長から、職員及び学生の受賞について資料に基づき説明があった。

(2) プレスリリースについて

議長から、通研のプレスリリースについて資料に基づき説明があった。

(3) 受託研究の受入について

議長から、受託研究の受入について資料に基づき説明があった。

(4) 民間等との共同研究の受入について

議長から、民間等との共同研究の受入について資料に基づき説明があった。

(5) 学術指導の受入について

議長から、学術指導の受入について資料に基づき説明があった。

(6) 奨学寄付金及び受託研究の受入について（第2四半期分）

奨学寄付金及び受託研究の受入について資料に基づき説明があった。

(7) 運営協議会コメントへの対応について

運営協議会コメントへの対応について資料に基づき説明があった。対応については未定部分と不十分な部分について、次回の通研教授会において案を提示することとした。

(8) 第2期中期目標中期計画の教育研究評価について

第2期中期目標中期計画の教育研究評価について説明があった。今後のスケジュール等について説明があり、併せてSS業績の対応について協力依頼があった。

(9) 科研費の申請について

科研費の申請について説明があった。申請について依頼があり、また、科研費の申請状況調査を実施した結果、申請率は例年と比較しても低いとの説明があった。事情としては、数年の内に定年退職する

教員が多数在籍していること、比較的大きなプロジェクトでエフォートの都合上申請出来ない等の報告があった。しかしながら若手の教員については可能な限り申請してもらいたいとの説明があり、併せて申請を促すよう依頼があった。

(10) 部局評価について

部局評価について説明があった。国際共同研究の件数を調査する可能性があるとの説明と、協力依頼があった。

II. 協議事項

1. 次期所長候補者の選挙について

議長から、選挙管理委員会委員について、慣例どおり年齢順の教授3名とすることについて提案があり、審議の結果承認した。

また、選挙において所信表明を行うことについて次回以降の選挙に向けて議論することとした。

配布資料に基づき次期所長候補者選挙の日程について説明があり、審議の結果承認した。

2. 教員の再任について

教員の再任について、資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。任期は1年5ヶ月とすることとした。

3. 准教授選考委員会の設置について

ナノスピ実験室半導体スピントロニクス研究室において准教授選考委員会を設置することについて提案があり、審議の結果承認した。

4. 助教の任用について

議長から、助教の任用について資料に基づき説明があった。補足説明があり、本人事は部局ビジョンの外国人枠を使用するとの説明があり、審議の結果承認した。任期は、3年とすることとし、再任の場合は指導教員の定年までの5ヶ月とすることとした。

5. 特任教授の兼務について

特任教授の兼務について資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

6. 非常勤研究員の任用について

議長から、非常勤研究員の任用について資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

7. 平成27年度客員研究室教員について

議長から、平成27年度客員研究室教員について資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

8. 平成27年度外国人研究員の任用について

平成27年度外国人研究員の任用について資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

9. 部局間学術交流協定の更新について

部局間学術交流協定の更新について資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

10. 平成27年度総長裁量経費（第2回）について

議長から、平成27年度総長裁量経費（第2回）について資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

11. その他

(1) 来年度の進路指導委員について

来年度の進路指導委員について11月から活動を開始するとの報告があった。

(2) 談話交流会 WG の設置について

談話交流会 WG の設置について提案があり、審議の結果承認した。

第1回談話交流会の様子について、資料に基づき説明があった。経費等について議論があった。

III その他

1. その他

(1) 東京フォーラム2015について

東京フォーラム2015について資料に基づき説明があった。

(2) RIEC Award について

RIEC Award について説明があった。財団理事会において審査終了後、公式に発表になるとの説明があり、併せて審査委員等関係者について謝辞があった。

(3) 防災訓練について

10月23日の14時から開催されるとの報告があり、前回の反省点等が報告された。

(4) 通研公開について

通研公開について説明があった。来場者数については、1日目が1,245名、2日目が1,442名の合計2,687名であるとの報告があり、過去の通研公開と比較しても最大の来場者数であったとの報告があった。片平まつり全体での来場者数については14,662名であったとの報告があり、その要因と思われる事項について説明があった。関係者に関して謝辞があった。何か意見がある場合は、ご連絡願いたいとの説明があった。

(5) 会議資料の電子化について

会議資料の電子化について資料に基づき説明があった。11月・12月を試行期間とし、1月より実施したいとの報告があった。人事関係等については、電子化せずに紙媒体で配布する予定であるとの報告があった。

(6) 次回の開催について

平成27年11月10日(火)14時から開催することとした。

以 上